



# 986

## ホイールローダ

# 技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域の Cat® ディーラにお問い合わせください。

## 目次

<b>仕様</b> .....	<b>2</b>
エンジン.....	2
トランスミッション.....	2
運転仕様.....	2
油圧システム-リフト/チルト.....	2
油圧サイクルタイム.....	2
油圧システム-ステアリング.....	3
エアコンディショニングシステム.....	3
アクスル.....	3
ブレーキ.....	3
オペレータキャブ.....	3
交換容量.....	3
騒音に対する性能-Tier 4 Final/Stage V.....	3
騒音に対する性能-Tier 3/Stage IIIA 同等.....	3
寸法.....	4
バケット容量/取扱材料比重選択ガイド.....	5
アグリゲイトパッケージ運転仕様-標準リフト.....	6
運転仕様-標準リフト.....	7
運転仕様-ハイリフト.....	9
<b>標準およびオプション装備品</b> .....	<b>11</b>
<b>986 環境に関する宣言</b> .....	<b>13</b>
<b>986 ブロックハンドラコンフィギュレーション</b> .....	<b>14</b>
主な機能と利点.....	14
エンジン.....	15
トランスミッション.....	15
油圧システム-リフト/チルト.....	15
油圧サイクルタイム.....	15
交換容量.....	15
エアコンディショニングシステム.....	15
アクスル.....	16
ブレーキ.....	16
油圧システム-ステアリング.....	16
オペレータキャブ.....	16
騒音性能.....	16
寸法.....	17
積載容量曲線.....	18
運転仕様.....	19

# 986 ホイールローダ仕様

## エンジン

エンジンモデル	Cat C15	
ピークパワー回転数	1,600 rpm	
総出力 (SAE J1995:2014)	340 kW	456 hp
総出力 (SAE J1995:2014) (DIN)	462 hp	
エンジン (ISO 14396:2002)	335 kW	449 hp
エンジン (ISO 14396:2002) (DIN)	455 hp	
定格出力 (ネット) (SAE J1349:2011 適合)	278 kW	373 hp
定格出力 (ネット) (SAE J1349:2011) (DIN)	378 hp	
定格回転数	2,000 rpm	
EEC 80/1269	278 kW	373 hp
EEC 80/1269 (DIN)	378 hp	
ISO 9249: 2007	278 kW	373 hp
ISO 9249:2007 (DIN)	378 hp	
内径	137 mm	5.4 in
行程	171.5 mm	6.75 in
総行程容積 (排気量)	15.2 L	927 in3
ピークトルク (1,200 rpm) – SAE J1995:2014	2,411 N·m	1,778 lb-ft
トルクライズ	16%	

以下の2つのエンジン排出ガスオプションを用意しています。

1. 米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本 2014 年排出ガス基準に適合。
2. 中国オフロード Stage III、米国 EPA Tier 3 および EU Stage IIIA と同等のブラジル MAR-1 排出ガス基準に適合。

• 表示されている定格出力は、エンジンにエアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備し、ファンが最低速度で回転している場合に、フライホイール部で得られる出力です。

## トランスミッション

トランスミッション型式	Cat プラネタリ式 パワーシフト	
前進 1 速	7.3 km/h	5.0 mph
前進 2 速	12.2 km/h	8.0 mph
ダイレクトドライブ – 前進 2 速	12.7 km/h	8.0 mph
ダイレクトドライブ – 前進 3 速	22.0 km/h	14.0 mph
ダイレクトドライブ – 前進 4 速	39.0 km/h	24.0 mph
後進 1 速	7.6 km/h	5.0 mph
後進 2 速	13.6 km/h	8.0 mph
ダイレクトドライブ – 後進 2 速	14.1 km/h	9.0 mph
ダイレクトドライブ – 後進 3 速	25.0 km/h	16.0 mph
ダイレクトドライブ – 後進 4 速	40.8 km/h	25.4 mph

## 運転仕様

運転質量 – 標準	44,355 kg	97,785 lb
運転質量 – ハイリフト	47,175 kg	104,005 lb
定格積載質量 – 標準 (原石積込)	10 メートルトン	11.0 トン
定格積載質量 – 標準 (ばら荷)	12.7 トン	14.0 トン
定格積載質量 – ハイリフト (原石積込)	10 メートルトン	11.0 トン
定格積載質量 – ハイリフト (ばら荷)	11 トン	12.1 トン
バケット容量	5.0 ~ 10.3 m3	6.5 ~ 13.5 yd3
Cat トラックマッチング – 標準	770/735/740/745	
Cat トラックマッチング – ハイリフト	772/773	

## 油圧システム – リフト / チルト

リフト / チルトシステム – 回路	ロードセンシング	
リフト / チルトシステムポンプ	2 × 110 cc 可変容量	
最大流量 (2,165 rpm 時)	470 L/min	123 gal/分
リリーフバルブ設定 – リフト / チルト	27,900 kPa	4,050 psi
リフトシリンダ – 内径	190 mm	7.5 in
リフトシリンダ – ストローク	1,138 mm	45.0 in
チルトシリンダ – 内径	170 mm	6.7 in
チルトシリンダ – ストローク	722 mm	28.4 in

## 油圧サイクルタイム

ラックバック	4.5 秒
上げ	9.0 秒
ダンブ	3.5 秒
下げ	5.2 秒
下げ浮き下げ	4.3 秒
合計油圧サイクルタイム	21.3 秒

## 油圧システム - ステアリング

ステアリングシステム - 回路	ロードセンシング	
ステアリングシステム - ポンプ	ピストン (可変容量)	
最大流量 (1,400 rpm 時)	200 L/min	52 gal/分
ステアリングカットオフ圧	27,600 kPa	4,000 psi
合計ステアリング角度	70°	

## エアコンディショニングシステム

当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a (地球温暖化係数=1430) を使用。システムに含まれている冷媒の質量は 1.8 kg で、CO<sub>2</sub> 換算で 2.574 トン相当になります。

## アクスル

フロント	固定
リア	トラニオン
オシレーション角度	± 12.5°
オシレーション角度 (チェーン仕様)	± 8.5°

## ブレーキ

ブレーキ	ISO 3450: 2011
------	----------------

## オペレータキャブ

ROPS/FOPS	ROPS/FOPS は ISO 3471:2008 (ROPS) および ISO 3449:2005 Level II (FOPS) 規格に適合
-----------	--------------------------------------------------------------------------

## 整備交換時の容量

燃料タンク	535 L	141 gal
燃料タンク (ショートリフト)	481 L	127 gal
クーリングシステム	100 L	26 gal
クランクケース	34 L	9 gal
尿素水タンク (Tier 4 Final/Stage V のみ)	23 L	6 gal
トランスミッション	75 L	20 gal
アクスルオイル		
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ - フロント	186 L	49 gal
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ - リア	170 L	45 gal
油圧システム (工場充填)	330 L	87 gal
油圧系統 (タンクのみ)	130 L	34 gal

## 騒音に対する性能 - Tier 4 Final/Stage V

	標準	低騒音
オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	72 dB (A)	72 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	112 dB (A)	110 dB (A)*

## 騒音に対する性能 - Tier 3/Stage IIIA 同等

	標準	低騒音
オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	72 dB (A)	72 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	112 dB (A)	110 dB (A)

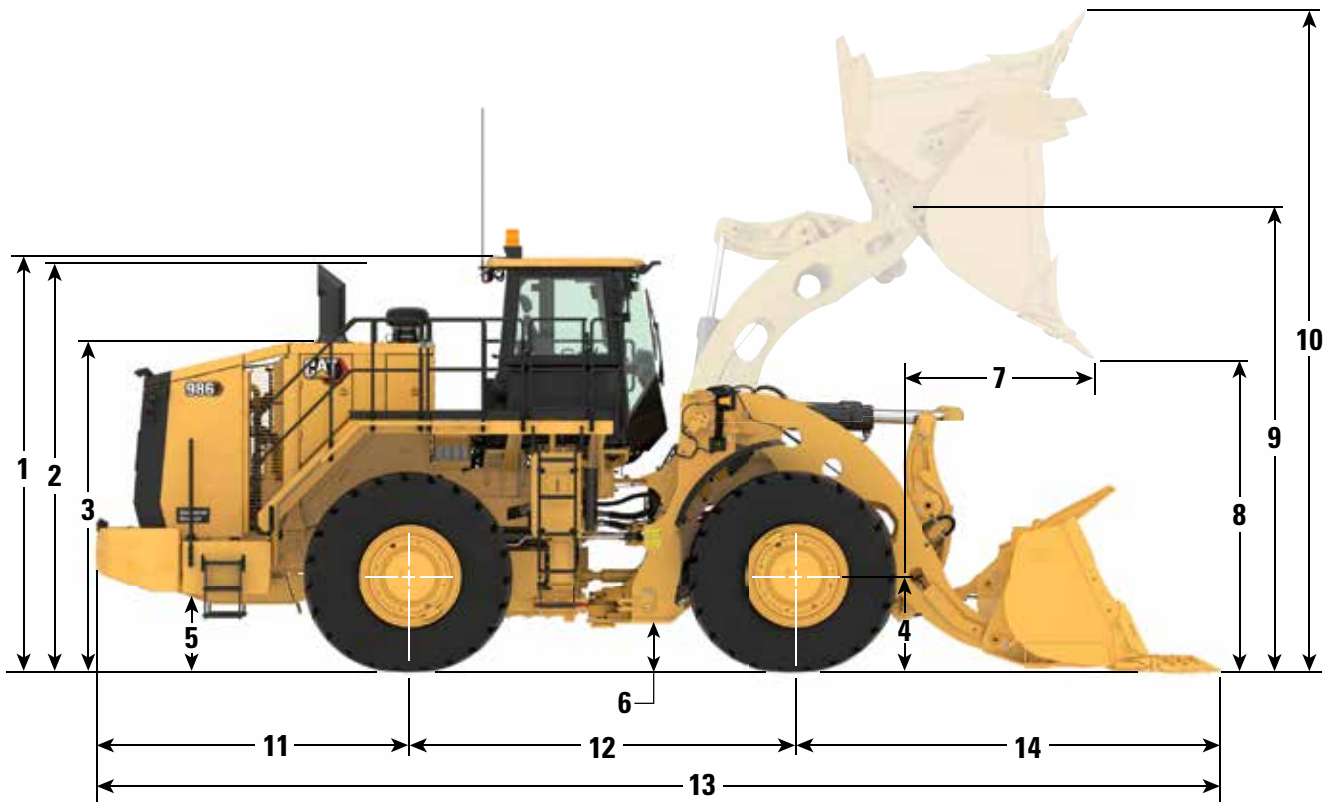
\* EU 指令 2000/14/EC (2005/88/EC による改訂) および英国騒音規制 2001 No. 1701。

- 車両音響出力レベルは、ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。
- 運転者音圧レベルは、ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。

# 986 ホイールローダ仕様

## 寸法

寸法はすべて概算値です。



	標準リフトリンケージ		ハイリフトリンケージ	
1 地上から ROPS 最上部までの高さ	4,100 mm	13.5 ft	4,100 mm	13.5 ft
2 地上からマフラー最上部までの高さ	4,060 mm	13.3 ft	4,060 mm	13.3 ft
3 地上からフード最上部までの高さ	3,270 mm	10.7 ft	3,270 mm	10.7 ft
4 フロントアクスルの中心線までの高さ	978 mm	3.2 ft	978 mm	3.2 ft
5 地上から燃料タンクまでのクリアランス	691 mm	2.3 ft	691 mm	2.3 ft
6 ロアヒッチまでの最低地上高	459 mm	1.5 ft	459 mm	1.5 ft
7 ダンプリーチ (最大リフト時)	2,175 mm	7.1 ft	2,248 mm	7.4 ft
8 ダンプクリアランス (最大リフト時)	3,079 mm	10.1 ft	3,538 mm	11.6 ft
9 バケットヒンジピン高さ (最大リフト時)	4,912 mm	16.1 ft	5,371 mm	17.6 ft
10 最大全高 (バケット上げ時)	6,817 mm	22.4 ft	7,276 mm	23.9 ft
11 リアアクスルの中心線からバンパまで	3,132 mm	10.3 ft	3,132 mm	10.3 ft
12 ホイールベース	3,810 mm	12.5 ft	3,810 mm	12.5 ft
13 最大全長	11,143 mm	36.6 ft	11,591 mm	38.0 ft
14 フロントアクスルの中心線からバケットチップまで	4,201 mm	13.8 ft	4,649 mm	15.3 ft

注記:仕様は 6.1 m<sup>3</sup> (8.0 yd<sup>3</sup>) ロックバケットで計算されています。

## バケット容量 / 取扱材料比重選択ガイド

## ロックバケット - 標準リフト / ハイリフト - 10 メートルトン (11 トン) 定格積載質量 (原石積込)

取扱材料比重				バケット容量	
kg/m <sup>3</sup>	lb/yd <sup>3</sup>	メートルトン /m <sup>3</sup>	トン /yd <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	yd <sup>3</sup>
1,632 ~ 1,795	2,750 ~ 3,025	1.63 ~ 1.80	1.38-1.51	6.1	8.0
1,740 ~ 1,914	2,933 ~ 3,227	1.74 ~ 1.91	1.46-1.61	5.7	7.5
1,865 ~ 2,051	3,143 ~ 3,457	1.86 ~ 2.05	1.57-1.73	5.4	7.0

## ゼネラルパーパスバケット - 標準リフト - 12.7 メートルトン (14 トン) 定格積載質量 (ばら荷) \*

取扱材料比重				バケット容量	
kg/m <sup>3</sup>	lb/yd <sup>3</sup>	メートルトン /m <sup>3</sup>	トン /yd <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	yd <sup>3</sup>
1,512 ~ 1,663	2,545 ~ 2,800	1.51 ~ 1.66	1.27 ~ 1.40	8.4	11.0
1,671 ~ 1,838	2,800 ~ 3,080	1.67 ~ 1.84	1.40 ~ 1.54	7.6	10.0
1,984 ~ 2,183	3,111 ~ 3,422	1.98 ~ 2.18	1.56 ~ 1.71	6.9	9.0

## ゼネラルパーパスバケット - ハイリフト - 11 メートルトン (12.1 トン) 定格積載質量 (ばら荷)

取扱材料比重				バケット容量	
kg/m <sup>3</sup>	lb/yd <sup>3</sup>	メートルトン /m <sup>3</sup>	トン /yd <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	yd <sup>3</sup>
1,310 ~ 1,440	2,200 ~ 2,420	1.31 ~ 1.44	1.10 ~ 1.21	8.4	11.0
1,447 ~ 1,592	2,420 ~ 2,662	1.45 ~ 1.59	1.21 ~ 1.33	7.6	10.0
1,719 ~ 1,891	2,689 ~ 2,958	1.72 ~ 1.89	1.34 ~ 1.48	6.9	9.0

\* アグリゲートハンドラアタッチメントが必要です。

注記: 定格積載質量は、バケットで運搬できる資材の質量です (バケット、GET、および摩耗材料の質量は含まれません)。Caterpillar 社が 110% を許容する場合でも、定格積載質量は 100% で公表されています。定格積載質量の値は質量で提示されます。密度の低い資材は多岐にわたるため、この質量は考慮されません。「大型ホイールローダの積載量に関する方針」を参照してください。

# 986 ホイールローダ仕様

## アグリゲイトパッケージ運転仕様 – 標準リフト

バケットタイプ		ゼネラルパーパスバケット				石炭
グラウンドエンゲージツール		ボルトオンカuttingエッジ				ボルトオンカuttingエッジ
カuttingエッジのタイプ		ストレート				ストレート
バケット部品番号		512-1180	513-7400	513-7420	477-1900	513-7450
平積み容量	m3	5.2	5.9	6.6	7.3	9.0
	yd3	6.8	7.7	8.6	9.6	11.8
山積み容量 (定格)	m3	6.1	6.9	7.7	8.4	10.3
	yd3	8.0	9.0	10.0	11.0	13.5
幅	mm	3,729	3,729	3,729	3,729	3,729
	ft	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45° ダンプ時) (エッジ)	mm	3,488	3,403	3,311	3,222	3,117
	ft	11.4	11.2	10.9	10.6	10.2
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45° ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	—	—	—	—	—
	ft	—	—	—	—	—
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時) (エッジ)	mm	1,815	1,900	1,992	2,081	2,161
	ft	6.0	6.2	6.5	6.8	7.1
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	—	—	—	—	—
	ft	—	—	—	—	—
リーチ (リフトアームが水平でバケットが同じ高さにあるとき)	mm	3,396	3,516	3,646	3,772	3,903
	ft	11.1	11.5	12.0	12.4	12.8
掘削深さ	mm	143	143	143	143	160
	in	5.6	5.6	5.6	5.6	6.3
全長	mm	10,589	10,709	10,839	10,965	11,110
	ft	34.7	35.1	35.6	36.0	36.4
全高 (バケットを完全に上げた状態)	mm	6,860	6,964	7,078	7,000	7,219
	ft	22.5	22.8	23.2	23.0	23.7
最小旋回半径 (SAE 運搬位置、ツース先端部まで)	mm	8,663	8,693	8,727	8,761	8,832
	ft	28.4	28.5	28.6	28.7	29.0
フルダンプ角度	角度	-50	-50	-50	-50	-50
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみなし)	kg	35,054	34,650	34,230	33,873	33,451
	lb	77,281	76,389	75,464	74,676	73,746
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみあり)	kg	33,028	32,605	32,162	31,785	31,281
	lb	72,814	71,882	70,905	70,074	68,963
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみなし)	kg	30,959	30,571	30,168	29,827	29,404
	lb	68,254	67,398	66,509	65,758	64,824
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみあり)	kg	27,835	27,421	26,989	26,625	26,099
	lb	61,366	60,453	59,500	58,698	57,538
掘削力	kN	374	346	319	297	275
	lbf	84,131	77,794	71,825	66,831	61,799
運転質量	kg	46,695	46,926	47,170	47,345	47,772
	lb	102,944	103,453	103,991	104,377	105,318
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – フロント	kg	20,746	21,163	21,607	21,942	22,752
	lb	45,736	46,655	47,635	48,374	50,160
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – リア	kg	25,949	25,763	25,563	25,402	25,019
	lb	57,208	56,798	56,356	56,003	55,158
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – フロント	kg	41,929	42,431	42,965	43,387	44,501
	lb	92,438	93,545	94,720	95,652	98,109
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – リア	kg	17,466	17,195	16,906	16,659	15,971
	lb	38,507	37,909	37,271	36,726	35,210

BOCE = Bolt-on Cutting Edge (ボルトオンカuttingエッジ)

## 運転仕様 – 標準リフト

バケットタイプ		岩石用			硬い岩石用
グラウンドエンゲージツール		ツースおよびセグメント			ツースおよびセグメント
カッティングエッジのタイプ		スパード			スパード
バケット部品番号		527-4050	527-4060	525-6140	527-4070
平積み容量	m3	4.4	4.8	5.1	4.4
	yd3	5.8	6.2	6.7	5.8
山積み容量 (定格)	m3	5.4	5.7	6.1	5.4
	yd3	7.0	7.5	8.0	7.0
幅	mm	3,812	3,812	3,812	3,840
	ft	12.5	12.5	12.5	12.6
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45° ダンプ時) (エッジ)	mm	3,363	3,317	3,278	3,346
	ft	11.0	10.9	10.8	11.0
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45° ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	3,164	3,118	3,079	3,116
	ft	10.4	10.2	10.1	10.2
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時) (エッジ)	mm	1,922	1,968	2,007	1,969
	ft	6.3	6.5	6.6	6.5
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	2,090	2,136	2,175	2,143
	ft	6.9	7.0	7.1	7.0
リーチ (リフトアームが水平でバケットが同じ高さにあるとき)	mm	3,820	3,885	3,940	3,891
	ft	12.5	12.7	12.9	12.8
掘削深さ	mm	155	155	155	134
	in	6.1	6.1	6.1	5.3
全長	mm	11,023	11,088	11,143	11,077
	ft	36.2	36.4	36.6	36.3
全高 (バケットを完全に上げた状態)	mm	6,716	6,771	6,817	6,716
	ft	22.0	22.2	22.4	22.0
最小旋回半径 (SAE 運搬位置、ツース先端部まで)	mm	8,714	8,731	8,745	8,752
	ft	28.6	28.6	28.7	28.7
フルダンプ角度	角度	-50	-50	-50	-50
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみなし)	kg	28,760	28,557	28,400	27,744
	lb	63,404	62,958	62,611	61,165
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみあり)	kg	27,211	26,999	26,834	26,204
	lb	59,990	59,523	59,159	57,770
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみなし)	kg	25,403	25,207	25,056	24,387
	lb	56,004	55,572	55,238	53,765
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみあり)	kg	23,110	22,902	22,742	22,106
	lb	50,949	50,490	50,137	48,735
掘削力	kN	336	323	313	325
	lbf	75,576	72,620	70,292	72,961
運転質量	kg	44,605	44,732	44,818	45,505
	lb	98,336	98,616	98,806	100,320
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – フロント	kg	23,207	23,440	23,602	24,767
	lb	51,162	51,676	52,034	54,601
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – リア	kg	21,398	21,292	21,215	20,738
	lb	47,174	46,940	46,772	45,719
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – フロント	kg	39,865	40,131	40,324	41,412
	lb	87,887	88,475	88,898	91,297
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – リア	kg	14,740	14,600	14,494	14,093
	lb	32,496	32,188	31,954	31,070



# 986 ホイールローダ仕様

## 運転仕様 – 標準リフト

バケットタイプ		ゼネラルパーパスバケット				鋸歯状	石炭
グラウンドエンゲージツール		ボルトオンカuttingエッジ					ボルトオンカuttingエッジ
カuttingエッジのタイプ		ストレート				スピード	ストレート
バケット部品番号		512-1180	513-7400	513-7420	477-1900	519-1465	513-7450
平積み容量	m3	5.2	5.9	6.6	7.3	5.1	9.0
	yd3	6.8	7.7	8.6	9.6	6.7	11.8
山積み容量 (定格)	m3	6.1	6.9	7.7	8.4	6.1	10.3
	yd3	8.0	9.0	10.0	11.0	8.0	13.5
幅	mm	3,729	3,729	3,729	3,729	3,812	3,729
	ft	12.2	12.2	12.2	12.2	12.5	12.2
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45° ダンプ時) (エッジ)	mm	3,488	3,403	3,311	3,222	3,328	3,117
	ft	11.4	11.2	10.9	10.6	10.9	10.2
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45° ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	—	—	—	—	3,131	—
	ft	—	—	—	—	10.3	—
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時) (エッジ)	mm	1,815	1,900	1,992	2,081	2,013	2,161
	ft	6.0	6.2	6.5	6.8	6.6	7.1
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	—	—	—	—	2,210	—
	ft	—	—	—	—	7.3	—
リーチ (リフトアームが水平でバケットが同じ高さにあるとき)	mm	3,396	3,516	3,646	3,772	3,928	3,903
	ft	11.1	11.5	12.0	12.4	12.9	12.8
掘削深さ	mm	143	143	143	143	115	160
	in	5.6	5.6	5.6	5.6	4.5	6.3
全長	mm	10,589	10,709	10,839	10,965	11,099	11,110
	ft	34.7	35.1	35.6	36.0	36.4	36.4
全高 (バケットを完全に上げた状態)	mm	6,860	6,964	7,078	7,000	6,779	7,219
	ft	22.5	22.8	23.2	23.0	22.2	23.7
最小旋回半径 (SAE 運搬位置、ツース先端部まで)	mm	8,663	8,693	8,727	8,761	8,769	8,832
	ft	28.4	28.5	28.6	28.7	28.8	29.0
フルダンプ角度	角度	-50	-50	-50	-50	-50	-50
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみなし)	kg	29,324	28,943	28,546	28,212	28,869	27,788
	lb	64,649	63,808	62,933	62,196	63,646	61,261
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみあり)	kg	27,729	27,331	26,916	26,566	27,305	26,080
	lb	61,132	60,254	59,340	58,568	60,197	57,496
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみなし)	kg	25,962	25,594	25,211	24,890	25,535	24,465
	lb	57,237	56,426	55,581	54,874	56,295	53,936
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみあり)	kg	23,611	23,223	22,817	22,477	23,223	21,973
	lb	52,053	51,198	50,303	49,553	51,198	48,442
掘削力	kN	374	346	319	297	323	275
	lbf	84,131	77,794	71,825	66,831	72,664	61,799
運転質量	kg	44,255	44,486	44,730	44,905	44,391	45,332
	lb	97,564	98,074	98,612	98,997	97,864	99,939
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – フロント	kg	22,496	22,913	23,357	23,692	22,811	24,503
	lb	49,594	50,514	51,493	52,233	50,290	54,019
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – リア	kg	21,759	21,573	21,373	21,212	21,579	20,829
	lb	47,970	47,560	47,119	46,765	47,574	45,920
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – フロント	kg	39,169	39,653	40,168	40,571	39,642	41,621
	lb	86,353	87,421	88,554	89,445	87,395	91,759
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – リア	kg	15,085	14,832	14,562	14,333	14,749	13,710
	lb	33,257	32,699	32,104	31,599	32,516	30,226

BOCE = Bolt-on Cutting Edge (ボルトオンカuttingエッジ)



## 運転仕様 – ハイリフト

バケットタイプ		岩石用		硬い岩石用	
グラウンドエンゲージツール		ツースおよびセグメント		ツースおよびセグメント	
カッピングエッジのタイプ		スピード		スピード	
バケット部品番号		527-4050	527-4060	525-6140	527-4070
平積み容量	m3	4.4	4.8	5.1	4.4
	yd3	5.8	6.2	6.7	5.8
山積み容量 (定格)	m3	5.4	5.7	6.1	5.4
	yd3	7.0	7.5	8.0	7.0
幅	mm	3,812	3,812	3,812	3,840
	ft	12.5	12.5	12.5	12.6
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45° ダンプ時) (エッジ)	mm	3,821	3,775	3,737	3,805
	ft	12.5	12.4	12.3	12.5
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45° ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	3,623	3,577	3,538	3,575
	ft	11.9	11.7	11.6	11.7
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時) (エッジ)	mm	1,995	2,041	2,080	2,042
	ft	6.5	6.7	6.8	6.7
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	2,163	2,209	2,248	2,216
	ft	7.1	7.2	7.4	7.3
リーチ (リフトアームが水平でバケットが同じ高さにあるとき)	mm	4,184	4,249	4,304	4,255
	ft	13.7	13.9	14.1	14.0
掘削深さ	mm	203	203	203	181
	in	8.0	8.0	8.0	7.1
全長	mm	11,471	11,536	11,591	11,528
	ft	37.6	37.8	38.0	37.8
全高 (バケットを完全に上げた状態)	mm	7,174	7,230	7,276	7,174
	ft	23.5	23.7	23.9	23.5
最小旋回半径 (SAE 運搬位置、ツース先端部まで)	mm	8,914	8,932	8,948	8,952
	ft	29.2	29.3	29.4	29.4
フルダンプ角度	角度	-50	-50	-50	-50
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみなし)	kg	29,417	29,221	29,070	28,415
	lb	64,853	64,422	64,088	62,644
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみあり)	kg	27,919	27,714	27,555	26,924
	lb	61,551	61,099	60,748	59,357
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみなし)	kg	25,805	25,616	25,471	24,803
	lb	56,891	56,473	56,153	54,682
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみあり)	kg	23,428	23,225	23,070	22,436
	lb	51,650	51,202	50,861	49,463
掘削力	kN	336	323	312	324
	lbf	75,501	72,547	70,222	72,875
運転質量	kg	47,425	47,552	47,638	48,325
	lb	104,553	104,833	105,023	106,537
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – フロント	kg	22,883	23,132	23,304	24,558
	lb	50,449	50,997	51,377	54,140
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – リア	kg	24,541	24,420	24,333	23,767
	lb	54,104	53,837	53,646	52,397
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – フロント	kg	40,772	41,053	41,255	42,438
	lb	89,886	90,507	90,952	93,559
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – リア	kg	16,653	16,498	16,382	15,887
	lb	36,713	36,372	36,117	35,024

## 運転仕様 – ハイリフト

バケットタイプ		ゼネラルパーパスバケット				鋸歯状	石炭
グラウンドエンゲージツール		ボルトオンカuttingエッジ				ボルトオンカuttingエッジ	
カuttingエッジのタイプ		ストレート				スピード	ストレート
バケット部品番号		512-1180	513-7400	513-7420	477-1900	519-1465	513-7450
平積み容量	m3	5.2	5.9	6.6	7.3	5.1	9.0
	yd3	6.8	7.7	8.6	9.6	6.7	11.8
山積み容量 (定格)	m3	6.1	6.9	7.7	8.4	6.1	10.3
	yd3	8.0	9.0	10.0	11.0	8.0	13.5
幅	mm	3,729	3,729	3,729	3,729	3,812	3,729
	ft	12.2	12.2	12.2	12.2	12.5	12.2
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45°ダンプ時) (エッジ)	mm	3,946	3,862	3,770	3,680	3,787	3,575
	ft	12.9	12.7	12.4	12.1	12.4	11.7
ダンプクリアランス (フルリフトおよび 45°ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	—	—	—	—	3,590	—
	ft	—	—	—	—	11.8	—
リーチ (最大リフトおよび 45°ダンプ時) (エッジ)	mm	1,888	1,972	2,064	2,154	2,086	2,234
	ft	6.2	6.5	6.8	7.1	6.8	7.3
リーチ (最大リフトおよび 45°ダンプ時) (ツース先端部まで)	mm	—	—	—	—	2,283	—
	ft	—	—	—	—	7.5	—
リーチ (リフトアームが水平でバケットが同じ高さにあるとき)	mm	3,760	3,880	4,010	4,136	4,292	4,267
	ft	12.3	12.7	13.2	13.6	14.1	14.0
掘削深さ	mm	190	190	190	190	163	208
	in	7.5	7.5	7.5	7.5	6.4	8.2
全長	mm	11,039	11,159	11,289	11,415	11,552	11,558
	ft	36.2	36.6	37.0	37.5	37.9	37.9
全高 (バケットを完全に上げた状態)	mm	7,319	7,423	7,536	7,459	7,237	7,677
	ft	24.0	24.4	24.7	24.5	23.7	25.2
最小旋回半径 (SAE 運搬位置、ツース先端部まで)	mm	8,861	8,894	8,931	8,967	8,967	9,038
	ft	29.1	29.2	29.3	29.4	29.4	29.7
フルダンプ角度	角度	-50	-50	-50	-50	-50	-50
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみなし)	kg	29,955	29,587	29,204	28,884	29,533	28,457
	lb	66,040	65,229	64,385	63,679	65,109	62,736
静止転倒荷重 – 直進時 (タイヤたわみあり)	kg	28,416	28,027	27,623	27,283	28,019	26,790
	lb	62,646	61,789	60,898	60,149	61,771	59,062
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみなし)	kg	26,339	25,984	25,614	25,307	25,943	24,879
	lb	58,068	57,285	56,470	55,793	57,194	54,848
静止転倒荷重 – 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみあり)	kg	23,905	23,528	23,134	22,807	23,544	22,295
	lb	52,701	51,870	51,002	50,281	51,906	49,152
掘削力	kN	374	346	319	297	323	275
	lbf	84,040	77,709	71,746	66,757	72,571	61,739
運転質量	kg	47,075	47,306	47,550	47,725	47,211	48,152
	lb	103,782	104,291	104,829	105,215	104,081	106,156
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – フロント	kg	22,131	22,576	23,049	23,406	22,457	24,251
	lb	48,790	49,771	50,815	51,601	49,509	53,463
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) – リア	kg	24,944	24,730	24,500	24,319	24,754	23,901
	lb	54,992	54,520	54,014	53,613	54,572	52,693
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – フロント	kg	40,035	40,546	41,088	41,512	40,498	42,557
	lb	88,262	89,389	90,584	91,518	89,282	93,821
質量配分 (SAE 運搬位置) (積車) – リア	kg	17,039	16,760	16,461	16,213	16,713	15,595
	lb	37,566	36,948	36,291	35,743	36,845	34,381

BOCE = Bolt-on Cutting Edge (ボルトオンカuttingエッジ)

# 986 ホイールローダの標準およびオプション装備品

## 標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>電気系統</b>			<b>運転席 (続き)</b>		
アラーム、バックアップ	✓		リアビジョンカメラシステム	✓	
オルタネータ (単相 145 A)	✓		Cat コンフォートクロスシート (エアサスペンション付き、6 箇所調整機能)	✓	
ドライバッテリー	✓		シートベルト警告	✓	
コンバータ (10/15 A、24 V から 12 V)	✓		巻取り式シートベルト (76 mm (3 in) 幅)	✓	
照明システム (ハロゲン、作業灯、アクセスおよびサービスプラットフォーム照明)	✓		STIC™システム	✓	
始動および充電システム、24 V	✓		トランスミッションギヤインジケータ	✓	
緊急時始動用スタータソケット	✓		UV ガラス	✓	
<b>運転席</b>			湿式アームワイパ/ウォッシャ (フロントおよびリア) – 間欠フロントおよびリアワイパ	✓	
エアコン	✓		ウィンドウプルダウン式バイザ		✓
キャブプレクリーナ		✓	<b>パワートレイン</b>		
キャブ (騒音抑制および加圧式、一体型転倒時運転者保護構造 (ROPS/FOPS))	✓		不凍液 -50 °C (-58 °F)		✓
Cat Detect (Cat ディテクト)、物体検出システム		✓	自動潤滑 – リンケージ、シリンダ、ヒッチピン		✓
Cat Vision (Cat ビジョン)、リアビューカメラシステム		✓	アクスルオイルクーリング		✓
コントロール装置 (リフト/チルト機能)	✓		ブレーキ、オイル冷却式、マルチディスク、サービス/セカンダリ	✓	
グラフィカルインフォメーションディスプレイ。運転情報をリアルタイムで表示します。ここで、キャリブレーションを実施したり、オペレータ設定をカスタマイズしたりできます	✓		ケースドレーンスクリーン		✓
ヒータ、デフロスタ	✓		Cat Production Measurement		✓
ホーン	✓		Cat Production Measurement (Cat プロダクションメジャメント) 準備仕様	✓	
計器、ゲージ類: 冷却水温度、燃料レベル、尿素水レベル、作動油温度、パワートレインオイル温度	✓		クランクケースガード		✓
LED 警告灯 (ストロボ)		✓	E&H パーキングブレーキ		✓
キャブ車内灯	✓		エンジンブロックヒータ (120 V または 240 V)		✓
方向指示器	✓		C15 MEUI™ディーゼルエンジン、ターボチャージャー/アフタークーラ付き	✓	
LED ライト		✓	高速エンジンオイル交換システム (Wiggins)		✓
ランチボックス、ドリンクホルダ	✓		エンジン非常停止スイッチ (地上から)	✓	
ハンドレール取付型ミラー		✓	酷暑仕様用クーリングパッケージ – ソフトウェア		✓
リアビューミラー (車外取付け)	✓		作動油、-40 °C (-40 °F) の極寒冷気候向け		✓
プリンタ、積載質量		✓	ライドコントロール		✓
ラジオ (AM/FM/CD/MP3、Bluetooth® 付き、衛星 Sirius 対応)	✓		エンジンエアインテイクタービンプレクリーナ	✓	
ラジオ (CB 対応)	✓		セカンダリステアリング		✓
			エーテル始動補助装置 (自動)	✓	
			トルクコンバータ、ニュートラライザ	✓	
			トランスミッション (プラネタリ式パワースhift、4F/3R 電子制御)	✓	
			手動スイッチおよび自動燃料プライミング	✓	

# 986 ホイールローダの標準およびオプション装備品

## 標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

標準 オプション		標準 オプション	
<b>追加装備品</b>		<b>追加装備品 (続き)</b>	
自動バケットリフトキックアウト / ポジショナ	✓	オイルサンプリングバルブ	✓
Cat 排出ガス低減モジュール (CEM)	✓	-34 °C (-29 °F) までの環境で凍結防止性能を有するエクステンデッドライフクーラントの 50 % 混合液	✓
寒冷地始動補助装置 (2 個の追加バッテリー)	✓	キャブおよびサービスプラットフォームへのリアアクセス	✓
エンジン圧縮ブレーキ	✓	騒音低減 (エンジンエンクロージャ)	✓
カップリング (Cat Oリングフェースシール)	✓	ロードセンシングステアリング	✓
油圧駆動式デマンドファン	✓	タイヤ圧力モニタリングシステム	✓
サービスアクセスドア	✓	トーキック (つま先板)	✓
エコロジードレイン (エンジン、ラジエータ、作動油タンク用)	✓	車輪止め	✓
高速燃料給油システム (Shaw-Aero)	✓	盗難防止キャップロック	✓
フロントおよびリアローディングフェンダ	✓	<b>その他のオプション仕様車</b>	
燃料タンク、535 L (141 gal)	✓	アグリゲイトハンドラ	✓
ドローバヒッチ (ピン付き)	✓	ブロックハンドラ	✓
Cat XT™ホース	✓		
油圧システム (ステアリングおよびブレーキフィルタ / スクリーニングシステム)	✓		

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/en/company/sustainability> をご覧ください。

## エンジン

- CAT® C15 エンジンは、米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本 2014 年排出ガス基準、または、中国オフロード Stage III、米国 EPA Tier 3 および EU Stage IIIA と同等のブラジル MAR-1 排出ガス基準に適合したコンフィギュレーションで提供されています。
  - CAT の米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本 2014 年排出ガス基準に適合したディーゼルエンジンでは、ULSD（硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料）または次までの低炭素強度燃料を混合した ULSD を使用する必要があります。
    - ✓ 20% のバイオディーゼル FAME（脂肪酸メチルエステル）\*
    - ✓ 100% の再生可能ディーゼル、HVO（Hydrogenated Vegetable Oil、水添植物油）、および GTL（Gas-To-Liquid、ガス液化）燃料
  - 中国オフロード Stage III、米国 EPA Tier 3 および EU Stage IIIA と同等のブラジル MAR-1 排出ガス基準に適合した CAT エンジンは、次までの低炭素強度燃料を混合したディーゼル燃料に対応しています。
    - ✓ 100% のバイオディーゼル FAME（脂肪酸メチルエステル）\*\*
    - ✓ 100% の再生可能ディーゼル、HVO（Hydrogenated Vegetable Oil、水添植物油）、および GTL（Gas-To-Liquid、ガス液化）燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、"Caterpillar 製機械推奨液体類"(SEBU6250)を参照してください。
- \* アフタートリートメント装置なしのエンジンでは、混合レベルのさらに高い 100% のバイオディーゼルまでの燃料を使用できます。
- \*\* バイオディーゼルの混合レベルが 20% より高い燃料の使用については、Cat ディーラにお問い合わせください。

## エアコンディショニングシステム

- 当機のエアコンディショニングシステムには、フッ素系温室効果ガス冷媒 R134a（地球温暖化係数=1430）が含まれています。システムに含まれている冷媒の質量は 1.8 kg（3.9 lb）で、CO<sub>2</sub> 換算で 2.574 メートルトン（2.837 米トン）に相当します。

## 塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm 単位）は次のとおりです。
  - バリウム < 0.01 %
  - カドミウム < 0.01 %
  - クロム < 0.01 %
  - 鉛 < 0.01 %

## 騒音性能

Tier 4 Final/Stage V:

	標準	低騒音
オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	72 dB (A)	72 dB (A)

周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	112 dB (A)	110 dB (A)*
-------------------------	------------	-------------

Tier 3/Stage IIIA と同等:

	標準	低騒音
オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	72 dB (A)	72 dB (A)

周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	112 dB (A)	110 dB (A)*
-------------------------	------------	-------------

\* EU 指令 2000/14/EC（2005/88/EC による改訂）および英国騒音規制 2001 No. 1701。

- 車両音響出力レベルは、試験 ISO 6395:2008 に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。
- 運転者音圧レベルは、ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。
- 開放型の運転室やキャブ（適切にメンテナンスされていない場合や、ドア/ウィンドウを開いている状態）で、長時間作業を行うときや騒音の激しい環境では、聴力保護具が必要になる場合があります。

## 油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CAT ディーゼルエンジン不凍液 / クーラント (DEAC) および CAT エクステンデッドライフクーラント (ELC) は、リサイクルできます。詳しくは、最寄りの Cat ディーラにお問い合わせください。
- Cat Bio HYDO™ Advanced は、EU Ecolabel 認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

## 機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
  - オートアイドルリングストップ機能によりアイドルリング中の燃料消費を低減
  - ロードセンシング油圧システムは、ある機能を作動させるとき、それに必要な量だけ流量と圧力を供給する
  - CAT ペイロードテクノロジーは、積載効率を最大限に高め、複数のスキルレベルのオペレータに対してもより正確に作業できるようにサポート。これにより、積載時間の短縮、燃料コストの削減、および温室効果ガスの排出を削減
  - メンテナンス間隔の延長により、油水類とフィルタの消費量を削減
  - Cat クリーンエミッションモジュールには、エンジンの排出ガスを低減するためにディーゼルパーティキュレートフィルタ (DPF、Diesel Particulate Filter)、ディーゼル酸化触媒 (DOC、Diesel Oxidation Catalyst)、および選択式触媒還元 (SCR、Selective Catalytic Reduction) テクノロジーを搭載





# 986

## ブロックハンドラ

ブロックハンドラ用途では、より高い性能、生産性、および安全性が求められますが、CAT ホイールローダはこれに応えます。

### 定評ある信頼性

- 高い応答性を備える Cat C15 は、最高の性能が発揮されるように製造され、テストされています。
- 機械作動式電子ユニット噴射 (MEUI™、Mechanically Actuated Electronic Unit Injection) 燃料系統および進歩したディーゼルエンジン制御 (ADEM™、Advanced Diesel Engine Management) A5 エレクトロニックコントロールモジュールは燃料供給を管理し、性能の最適化と素早いエンジンレスポンスを実現します。
- 積載質量 14 トンのアグリゲイトハンドラコンフィギュレーションをご用意しています。
- システムマッチの効率性最大 60 トンのリジッドフレームトラック

### 耐久性

- マイニング用途専用に設計された、長寿命で、安定し、かつスムーズなギヤシフトを実現するクラス最高のトランスミッション。
- さらに強化されたパワーと操作性により、材料の移動をさらに効率的に。
- 過酷な作業条件と複数のライフサイクルに耐える堅牢な構造を備えています。
- トランスミッションニュートライザペダルを備えることで、サービブレーキの寿命が伸びるとともに、静止積み込み時に最大出力を発揮できます。
- ロードセンシング油圧システムにより、最大限の性能を発揮でき、熱と燃料消費を抑えます。
- 先進的なフィルタシステムにより、油圧システムの性能と信頼性を向上させます。

### 優れた燃料効率

- トラック積み込み時にクラス最高の効率性を発揮します。
- ロックアップクラッチ搭載のトルクコンバータにより、走行速度、サイクルタイムが向上します。
- エンジンアイドルリングストップ機能により、不要なアイドルリングを避けて燃料を節約します。燃料 1 gal 当たりの資材運搬量を最大 10% 改善します。
- システムから発生する熱が少なくなり、一貫した性能と効率を確保しています。

### 統合テクノロジーによりオペレータの作業効率向上

- 作業現場の管理・監視と効率向上のために開発されています。
- DETECT (ディテクト) により、オペレータは稼働中の車両周辺の状況を的確に把握できるうえ、万が一の場合には警告が発せられるため、作業現場の人員や資産の安全を確保できます。
- VisionLink® は装置に無線接続できるため、事業経営に必要な重要情報にアクセスすることができます。
- 車両や機械の状態に関する有用な情報を得ることができます。
- オプションのアドバンスプロダクティビティ登録を行うと、現場改善を講じるのに必要な情報が広く得られ、作業の生産性や収益性の向上に役立ちます。

### ブロックハンドリング設計

- 安定性と耐久性に優れ、ブロックハンドリングの用途に最適なカウンタウエイトを備えています。
- 高リンブルのパワートレインは、ブロックハンドリング専用に設計されたトルクコンバータとトランスミッションを装備して、リンブルを最大化します。
- クイックカブラ付きの油圧バルブが追加で搭載されているので、オペレータは積み運搬作業時にワークツールを交換して即座にロックすることができます。
- 大型のチルト/リフトシリンダがリンケージに装備されており、積荷の制御が改善されたとともに、長時間にわたって安全な運転が可能になりました。
- ライドコントロールがショックアブソーバとして機能し、悪路でスムーズな乗り心地を実現します。
- ブロックハンドリングでリフト能力の最大化を目指して設計されたリンケージレイアウトです。
- 無垢鋼製リフトアームが高い負荷応力を吸収します。
- 一体の鋳造構造により、要所となるピン部の強度を高めています。
- リフトアームの応力を解放することで耐久性が向上し、補修までの期間を延長できます。

## エンジン

エンジンモデル	Cat C15	
ピークパワー回転数	1,600 rpm	
総出力 (SAE J1995:2014)	340 kW	456 hp
総出力 (SAE J1995:2014) (DIN)	462 hp	
エンジン (ISO 14396:2002)	335 kW	449 hp
エンジン (ISO 14396:2002) (DIN)	455 hp	
定格出力 (ネット) (SAE J1349:2011 適合)	278 kW	373 hp
定格出力 (ネット) (SAE J1349:2011) (DIN)	378 hp	
定格回転数	2,000 rpm	
EEC 80/1269	278 kW	373 hp
EEC 80/1269 (DIN)	378 hp	
ISO 9249: 2007	278 kW	373 hp
ISO 9249:2007 (DIN)	378 hp	
内径	137 mm	5.4 in
行程	171.5 mm	6.75 in
総行程容積 (排気量)	15.2 L	927 in <sup>3</sup>
ピークトルク (1,200 rpm) – SAE J1995:2014	2,411 N·m	1,778 lb-ft
トルクライズ	16%	

以下の2つのエンジン排出ガスオプションを用意しています。

1. 米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本 2014 年排出ガス基準に適合。
2. 中国オフロード Stage III、米国 EPA Tier 3 および EU Stage IIIA と同等のブラジル MAR-1 排出ガス基準に適合。

• 表示されている定格出力は、エンジンにエアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備し、ファンが最低速度で回転している場合に、フライホイール部で得られる出力です。

## トランスミッション

トランスミッション型式	Cat プラネタリ式 パワーシフト	
前進 1 速	7.3 km/h	5 mph
前進 2 速	12.2 km/h	8 mph
ダイレクトドライブ – 前進 2 速	12.7 km/h	8 mph
ダイレクトドライブ – 前進 3 速	22 km/h	14 mph
ダイレクトドライブ – 前進 4 速	39 km/h	24 mph
後進 1 速	7.6 km/h	5 mph
後進 2 速	13.6 km/h	8 mph
ダイレクトドライブ – 後進 2 速	14.1 km/h	9 mph
ダイレクトドライブ – 後進 3 速	25 km/h	16 mph
ダイレクトドライブ – 後進 4 速	40.8 km/h	25.4 mph

## 油圧システム – リフト / チルト

リフト / チルトシステム – 回路	ロードセンシング	
リフト / チルトシステムポンプ	2 × 110 cc 可変容量	
最大流量 (2,165 rpm 時)	470 L/min	123 gal/分
リリーフバルブ設定 – リフト / チルト	27,900 kPa	4,050 psi
リフトシリンダ – 内径	190 mm	7.5 in
リフトシリンダ – ストローク	1,138 mm	45 in
チルトシリンダ – 内径	170 mm	6.7 in
チルトシリンダ – ストローク	568 mm	22.4 in

## 油圧サイクルタイム

ラックバック	4.5 秒
上げ	8.5 秒
ダンプ	3 秒
下げ	4.9 秒
下げ浮き下げ	4.3 秒
合計油圧サイクルタイム	15.8 秒

## 交換容量

燃料タンク	438 L	116 gal
冷却系統	100 L	26 gal
クランクケース	34 L	9 gal
尿素水タンク (Tier 4 Final/Stage V のみ)	23 L	6 gal
トランスミッション	75 L	20 gal
アクスルオイル		
ディファレンシャルおよび ファイナルドライブ – フロント	186 L	49 gal
ディファレンシャルおよび ファイナルドライブ – リア	170 L	45 gal
油圧システム (工場充填)	330 L	87 gal
油圧系統 (タンクのみ)	130 L	34 gal

## エアコンディショニングシステム

当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a (地球温暖化係数=1430) を使用。システムに含まれている冷媒の質量は 1.8 kg で、CO<sub>2</sub> 換算で 2.574 トン相当になります。



## アクスル

フロント	固定
リア	トラニオン
オシレーション角度	± 12.5°
オシレーション角度 (チェーン仕様)	± 8.5°

## ブレーキ

ブレーキ	ISO 3450: 2011
------	----------------

## 油圧システム - ステアリング

ステアリングシステム - 回路	ロードセンシング	
ステアリングシステム - ポンプ	ピストン (可変容量)	
最大流量 (1,400 rpm 時)	200 L/min	52 gal/分
ステアリングカットオフ圧	27,600 kPa	4,000 psi
合計ステアリング角度	70°	

## オペレータキャブ

ROPS/FOPS	ROPS/FOPS は ISO 3471:2008 (ROPS) および ISO 3449:2005 Level II (FOPS) 規格に適合
-----------	--------------------------------------------------------------------------

## 騒音に対する性能 - Tier 4 Final/Stage V

	標準	低騒音
オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	72 dB (A)	72 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	112 dB (A)	110 dB (A)*

## 騒音に対する性能 - Tier 3/Stage IIIA 同等

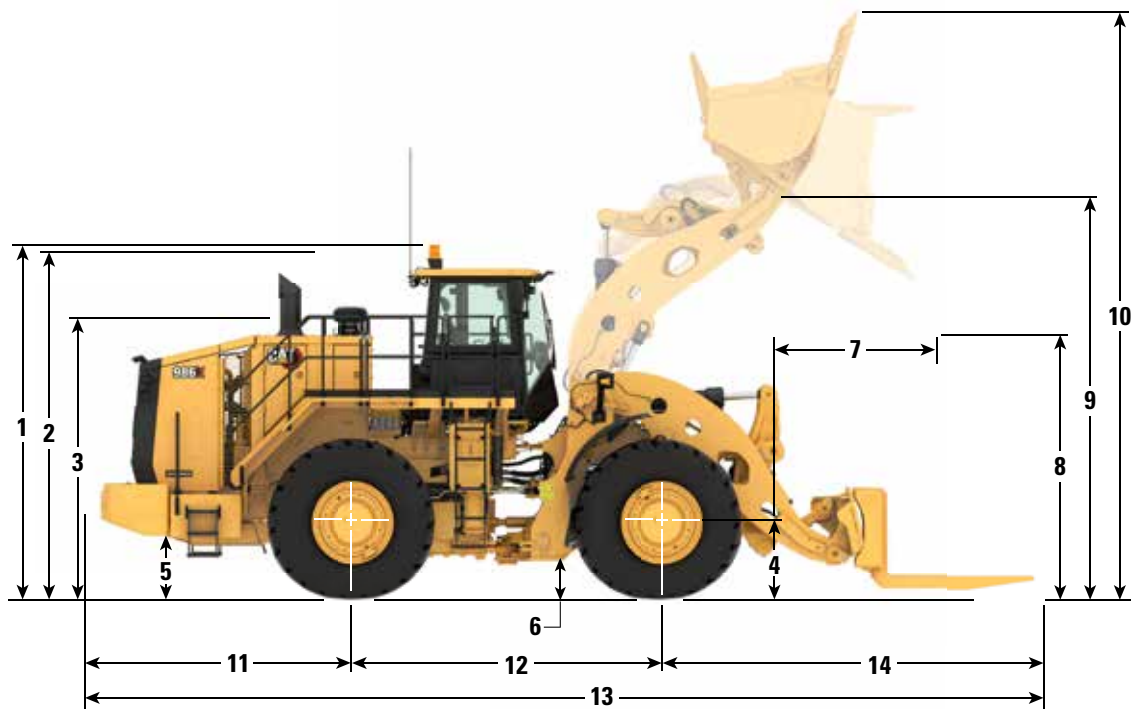
	標準	低騒音
オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	72 dB (A)	72 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	112 dB (A)	110 dB (A)

\* EU 指令 2000/14/EC (2005/88/EC による改訂) および英国騒音規制 2001 No. 1701。

- 車両音響出力レベルは、ISO 6395:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。
- 運転者音圧レベルは、ISO 6396:2008 で規定されている試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の 70% にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。

## 寸法

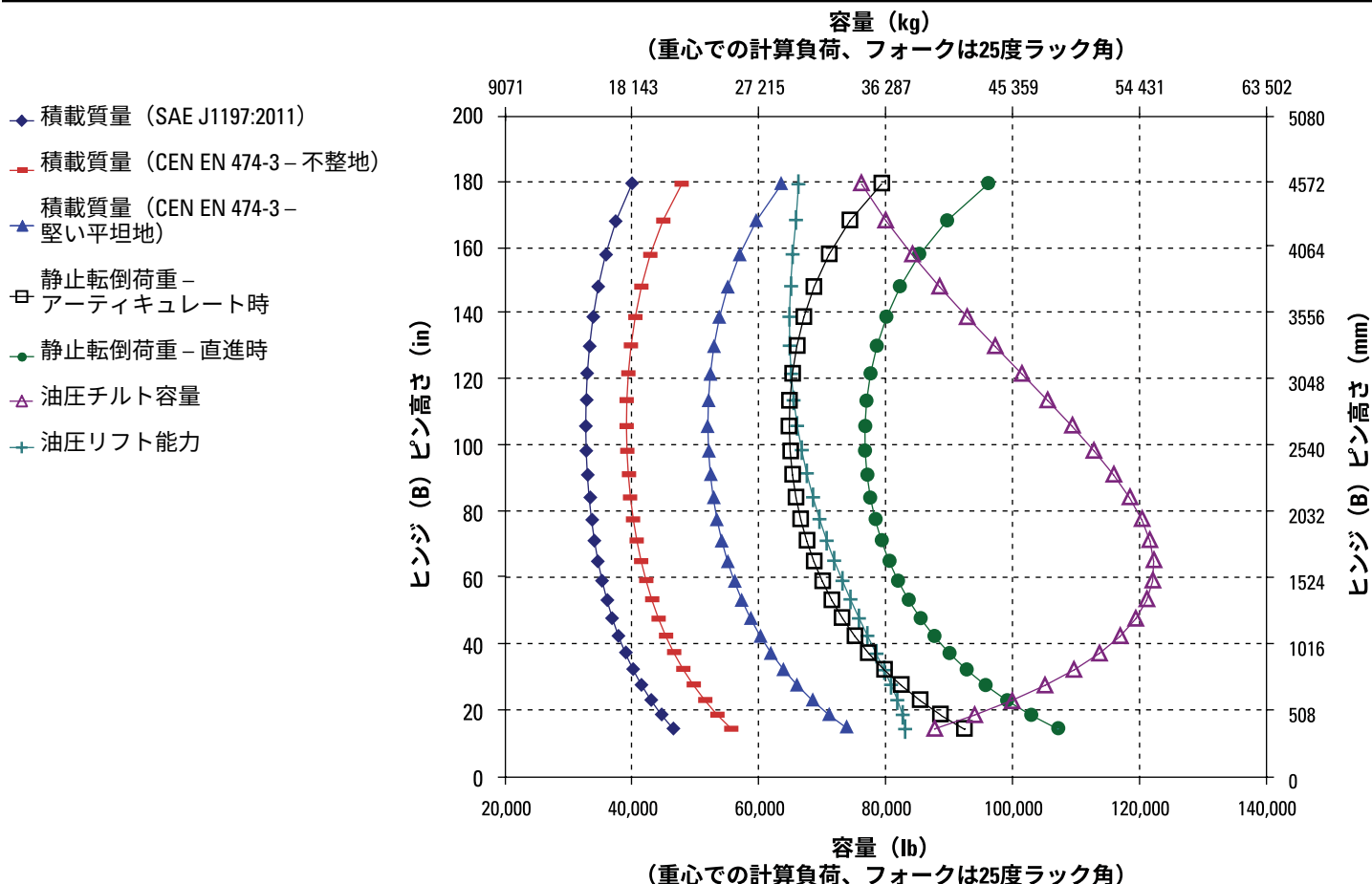
寸法はすべて概算値です。



	クイックカプラおよび 6.1 m <sup>3</sup> (8.0 yd <sup>3</sup> ) バケット		クイックカプラおよび フォーク	
1 地上から ROPS 最上部までの高さ	4,100 mm	13.5 ft	4,100 mm	13.5 ft
2 地上からマフラー最上部までの高さ	4,060 mm	13.3 ft	4,060 mm	13.3 ft
3 地上からフード最上部までの高さ	3,270 mm	10.7 ft	3,270 mm	10.7 ft
4 地上からリアアクスル中心までの高さ	978 mm	3.2 ft	978 mm	3.2 ft
5 地上から燃料タンクまでのクリアランス	691 mm	2.3 ft	691 mm	2.3 ft
6 ロアヒッチまでの最低地上高	459 mm	1.5 ft	459 mm	1.5 ft
7 ダンプングリーチ (最大リフト時)	2,437 mm	8.0 ft	—	—
8 ダンプングクリアランス (最大リフト時)	3,259 mm	10.7 ft	—	—
9 バケットヒンジピン高さ (最大リフト時)	4,566 mm	15.0 ft	4,566 mm	15.0 ft
10 最大全高 (バケット上げ時)	6,359 mm	20.9 ft	—	—
11 リアアクスルの中心線からバンパまで	3,132 mm	10.3 ft	3,132 mm	10.3 ft
12 ホイールベース	3,810 mm	12.5 ft	3,810 mm	12.5 ft
13 最大全長	10,671 mm	35.0 ft	10,776 mm	35.4 ft
14 フロントアクスルの中心線からバケットチップまで	3,729 mm	12.2 ft	3,834 mm	12.6 ft

## 積載容量曲線

L5 タイヤ、フォークは 25 度ラック角、1,795 mm (71") タイン、ブロックハンドラクイックカブラおよびブロックハンドラフォーク。



### 注記:

静止転倒荷重と運転質量は、次のローダコンフィギュレーションに基づきます。L5 プリチストンバイアスタイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレインガード、油水類満タン、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は次の規格に準拠しています。SAE\* J1197、SAE J732、CEN\*\* EN 474-3

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。

SAE J1197:2011 全回転静止転倒荷重の 50 % または油圧限界。

CEN EN 474-3: 不整地での全回転静止転倒荷重の 60 % または油圧限界。

CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の 80 % または油圧限界。

\* SAE – Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会

\*\* CEN – European Committee for Standardization、欧州標準化委員会

## 運転仕様

タイヤ :35/65-33 SLR: 978 mm (3.2 ft)

バケットタイプ		バケット	フォーク
グラブドエンゲージツール		ツースおよびセグメント	
カッティングエッジのタイプ		スペード	
バケット部品番号		457-8930	418-0070
平積み容量	m <sup>3</sup> yd <sup>3</sup>	4.4 5.8	
山積み容量 (定格)	m <sup>3</sup> yd <sup>3</sup>	5.4 7.0	
バケット幅	mm ft	3,812 12.5	
ダンプクリアランス (フルリフトおよびフルダンプ角度) (セグメント)	mm ft	3,355 11.0	
ダンプクリアランス (フルリフトおよびフルダンプ角度) (ツース先端部まで)	mm ft	3,259 10.7	
リーチ (リフトおよびフルダンプ角度) (セグメント)	mm ft	2,261 7.4	
リーチ (リフトおよびフルダンプ角度) (ツース先端部まで)	mm ft	2,438 8.0	
リーチ (リフトアームが水平でバケットが同じ高さにあるとき) (ツース先端部まで)	mm ft	3,518 11.5	
掘削深さ (セグメント)	mm in	103 4	
全長 (バケットを地面に置いたとき)	mm ft	10,671 35.0	10,776 35.4
全高 (バケットを完全に上げた状態)	mm ft	6,359 20.9	
最小旋回半径 (SAE J1197 運搬位置)	mm ft	8,628 28.3	7,736 25.4
フルダンプ角度	角度	-27	
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし)	kg lb	36,511 80,493	35,522 78,313
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみ)	kg lb	35,541 78,354	34,719 76,542
静止転倒荷重 - 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみなし)	kg lb	31,927 70,387	31,322 69,053
静止転倒荷重 - 全回転 (アーティキュレート 35°) (タイヤたわみ)	kg lb	29,711 65,501	29,278 64,547
掘削力	kN lbf	338 76,075	
運転質量	kg lb	52,929 116,688	50,688 111,748
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) - フロント	kg lb	21,272 46,897	17,611 38,826
質量配分 (SAE 運搬位置) (空車) - リア	kg lb	31,657 69,792	33,077 72,922

ブリヂストン 42 PR バイアスタイヤ (空気圧 6.6 bar (95 psi))。

418-0070 フォークで転倒荷重について 25 度フォーク角度



オフロード法2014年  
基準適合



Cat 製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Web サイト ([www.cat.com](http://www.cat.com)) をご覧ください。

VisionLink® は Caterpillar 社の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

この製品に使用されるマテリアルと仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械はオプション装備品を含む場合があります。利用可能なオプションについては、Cat ディーラにお問い合わせください。

© 2023 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、Product Link、XT、STIC、MEUI、ADEM、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge" および CAT "Modern Hex" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用することはできません。

AJXQ3625-00 (11-2023)  
ビルド番号 : 11B  
Global

